

引張試験機

テクノテスターAT-200

あと施工アンカー引張荷重確認試験機

取扱説明書(変位測定なし)



適合サイズ

M16 ~ M24

W5/8 ~ W1

D16 ~ D25



株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

1, 各部名称	……	P-1
2, 組立手順	……	P-2 ~ 4
3, 操作手順	……	P-5 ~ 7
4, 注意事項	……	P-8

1, 各 部 名 称



AT-200 本体

油圧ポンプ

油圧ホース、接続ケーブル

センターシャフト、調整ナット、ワッシャープレート

カプラ、全ねじボルト(M16~M24)

カプラ、全ねじボルト(W5/8~W1)

テクノテスター専用プリンターM255(ACアダプタ、バッテリー、充電器)

モーターレンチ

変位計・変位計ダミープラグ・変位計取付ステー

長脚

消耗品

作動油、プリンター用ロール紙、プリンター用インクリボン

2, 組立手順



アンカーボルトのサイズを確認し、

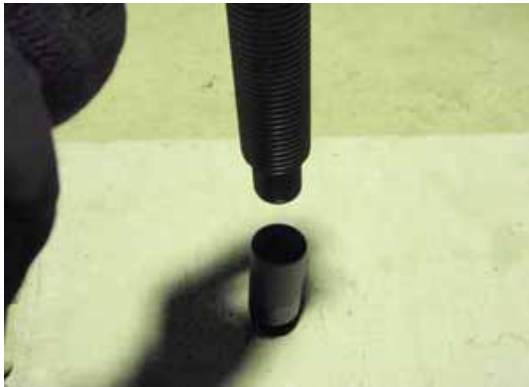
適合するカプラを選び、取り付けます。

適合サイズ Mネジ(ミリ) M16 M20 M22 M24

分ネジ(W) W5/8 W3/4 W7/8 W1

注意...ドブメッキの場合、カプラが
入りにくい場合があります。

めねじアンカーの場合は、寸切り
ボルトを同様に取り付けます。



センターシャフトをねじ込みます。

⚠ カプラとの隙間が無くなるまでねじ込んで下さい。

ねじ込みが不十分だとボルト等のねじ山が

損傷し、ボルトや機械が飛び出して事故や

怪我を招く恐れがあります。



センターシャフトに本体を通します。

⚠ 壁面及び天井向きの場合、落下に

よるケガや機械の破損が考えられます。

必ず落下防止措置を講じて下さい。



ワッシャープレート・ナットを取り付けます。

軽く締め込みます。



脚の調整をします。

アンカーが垂直に施工されていない場合や
躯体に凹凸がある場合等は、脚を回して
アンカーと本体が直角になるように、調節
して下さい。この際、3本の脚を均等に接地
させて下さい。



ダミープラグを取り付けます。

変位測定を行わない場合は、必ず
ダミープラグを取り付けて下さい。
接続しないと不定期に変位値が変化します。



センターホールシリンダーとポンプ、
油圧ホースのキャップをはずし、
カチッと音がするまで押しはめ込みます。

**⚠ カブラ同士をしっかりとめ込んで下さい。
隙間があると油もれや故障の原因になります。**



油圧ポンプに油圧ホースを取り付けます。



測定部側のケーブルを接続します。
本体と測定部のコネクタのキャップを
はずし、両コネクタにケーブルを
接続します。

接続は確実に行ってください。



本体側のケーブルを接続します。
本体と測定部のコネクタのキャップを
はずし、両コネクタにケーブルを
接続します。

接続は確実に行ってください。



プリンタケーブルの接続をします。
プリンターケーブルの端子を基盤下部の
外部出力に接続します。

プリンターの接続により、
試験データがプリントアウトされます。



組み立て完了

お願い

機構部(油圧ポンプ・脚の調節)及び
測定部(各、設定方法)等の詳細は、
A T - 200 取扱説明書を参照して
いただくよう、お願いします。

3, 操作手順



測定部・プリンターの電源スイッチを
ONにします。

測定画面が表示するまで長押しして下さい。

左の画面になるまで DISPLAY ボタンを
繰り返し押します。



レバー握り部を手で上から押して、
ロックピンを外し、空気弁を開放します。



設定荷重の変更します。

設定値変更のボタンを押します。

[SET/MAX]ボタンを繰り返し押して

画面表示が「設定値 kN」表示にしてから
操作して下さい。



[設定値]・[設定値]ボタンで
荷重値を変更します。



[設定値変更]ボタンを押せば
設定値変更は完了です。



[ゼロ調整]ボタンをゼロ調整完了の
表示が出るまで長押しします。



出炭バルブを右方向にゆっくり回します。

⚠ 停止するまで回してください。但し工具等を使用して回すと破損の恐れがありますので必ず手で回してください。



ハンドルをゆっくり上下に繰り返し、
測定荷重まで加圧します。

⚠ 注意: ボルトの先端に顔、体を向けない



[印字]ボタンを押し、試験データを
プリントアウトします。



出戻バルブを左方向(ポンプ側)に
ゆっくり回して減圧します。

⚠ 注意:減圧時はつまみを左にゆっくりと
回してください。急激に減圧すると
ゲージを破損する原因となります。

使用後

- ・操作バルブを全閉にして下さい。
- ・空気弁を全閉にして下さい。
- ・レバー握り部をロックピンで固定して下さい。
- ・油圧ホースを外して下さい。
- ・カプラには必ずキャップを付けて下さい。

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 圧力計には、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 使用中油温が60 を越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用して下さい。
- 6, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 7, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 8, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所によって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。